

由良川 荒河排水機場の効果（平成29年9月17日・18日 台風18号出水）

■荒河排水機場では、平成29年9月17日23時～18日12時にかけて、内水被害発生に備えて、ポンプを操作・運転し、**総排水量42.0万m³の内水**を排出しました。そのうち昨年度増設した3m³/sのポンプでは、**9.6万m³の内水**を排出しました。

■荒河排水機場の位置・全景



■荒河排水機場の役割

荒河排水機場は、昭和56年に運用開始後、平成6年に増設し、最大10m³/sの能力とした。昨年9月15日には3m³/sの増設を行った。弘法川流域に降った雨を由良川へ排水することにより、福知山盆地の内水被害を軽減する役割を担っている。

■ポンプ能力

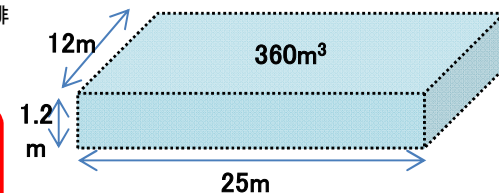
| ポンプ能力 | 25mプールで換算した場合の能力 |
|--|---------------------------------|
| 最大 13 m ³ /s (5.0m ³ /s × 2 基) (1.5m ³ /s × 2 基) | 約28秒 で25 m プールの水すべて排出できる |

■効果

排水量 42万m³
 ■ 25 mプール
 ■ 1166杯分

※今回排水した42万m³のうち昨年増設したポンプの排水量は9.6万m³でした。

浸水被害を防ぐため、排水量42万m³の内水を由良川本川に排出

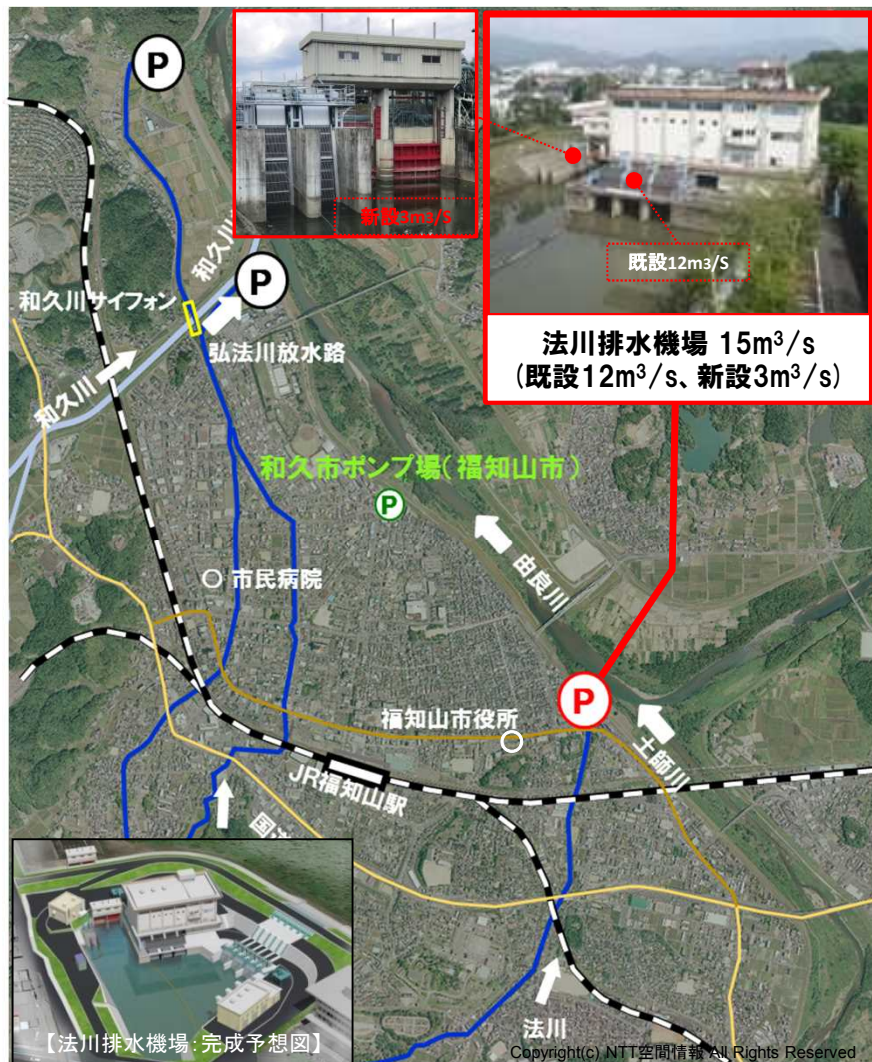


9月17日～18日にかけて福知山観測所において累加雨量123mm、時間最大45mmの雨を観測しました。

由良川 法川排水機場の効果（平成29年9月17日・18日 台風18号出水）

■法川排水機場では、平成29年9月17日23時～18日11時にかけて、内水被害発生に備えて、ポンプを操作・運転し、**総排水量7.1万m³の内水**を排出しました。そのうち昨年度増設した3m³/sのポンプでは、**2.5万m³の内水**を排出しました。

■法川排水機場の位置・全景



■法川排水機場の役割

法川排水機場は、昭和54年に運用開始し、平成6年に2号ポンプ増設完了し、平成12年に3号ポンプ、平成29年3月に4号5号ポンプを増設完了した。法川流域に降った雨を由良川へ排水することにより、福知山盆地の内水被害を軽減する役割を担っている。

■ポンプ能力

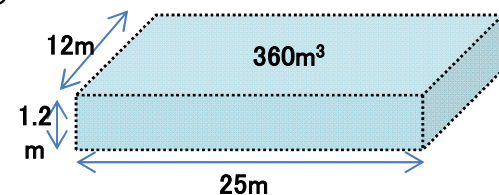
| ポンプ能力 | 25mプールで換算した場合の能力 |
|---|-------------------------|
| 最大 15 m ³ /s(4.0m ³ /s × 3 基) (1.5m ³ /s × 2 基) | 約24秒で25 m プールの水すべて排出できる |

■効果

排水量 **7.1万m³** = **25 mプール**
= **196杯分**

※今回排水した7.1万m³のうち昨年増設したポンプの排水量は2.5万m³でした。

浸水被害を防ぐため、排水量7.1万m³の内水を由良川本川に排出しました。



9月17日～18日にかけて福知山観測所において累加雨量123mm、時間最大45mmの雨を観測しました。

由良川 弘法川救急排水ポンプ設備の効果（平成29年9月17日・18日 台風18号出水）

■弘法川救急排水ポンプ設備では、平成29年9月18日0時～18日1時にかけて、内水被害発生に備えて、ポンプを操作・運転し、**総排水量1.1万m³の内水**を排出しました。

■弘法川救急排水ポンプ設備の位置・全景



■弘法川救急排水ポンプ設備の役割

弘法川救急排水ポンプ設備は、昭和55年に運用開始した。弘法川流域に降った雨を由良川へ排水することにより、福知山盆地の内水被害を軽減する役割を担っている。現在、常設型のポンプ9m³/Sを新設工事中です。

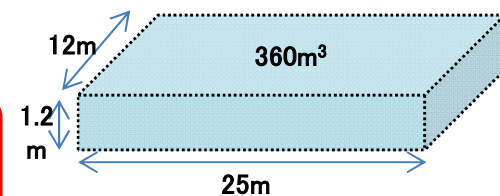
■ポンプ能力

| ポンプ能力 | 25mプールで換算した場合の能力 |
|---|------------------------|
| 最大 5 m ³ /s (1.25m ³ /s × 4基) | 約72秒で25 mプールの水すべて排出できる |

■効果

排水量 **1.1万m³** = 25 mプール **30杯分**

浸水被害を防ぐため、排水量1.1万m³の内水を由良川本川に排出



9月17日～18日にかけて福知山観測所において累加雨量123mm、時間最大45mmの雨を観測しました。